

茨城大学人文学部主催シンポジウム
「地域社会と大学の協働を目指して」

目的

2000年施行された地方分権一括法によって、「新たな地域の時代」の幕開けが到来しました。住民は自らの居住する地域に目を向け、より質が高く満足すべき行政サービスをもとめています。と同時に、行政のみならず、住民、NPO、民間企業等、様々な主体が地域の運営に携わるようになってきました。

他方、高等教育は社会と人間の将来にとって決定的に重要な意味をもち、大学という組織は社会において大切な社会的公共財になりつつあります。そして、社会的公共財としての茨城大学は、地域の時代に相応しい大学の使命と役割を担わなければなりません。

そして何よりも大学生は、大学教育を通して幅広い教養と社会活動に関する専門的知識を身につけるとともに、社会が直面する諸課題に主体的にかかわっていくことがもていられています。

茨城大学人文学部は、変革期を迎えた地域社会と大学が、「新たな地域の時代」を担う人材を育成することが何よりも重要であるとの認識に立ち、地域社会と大学が協働して、新たな教育プログラムを構築することにしました。今後、地域社会と大学との新たな役割分担、協働関係を築いていくことによって、地域社会に貢献することを目的とするシンポジウムを開催します。

シンポジウム

「地域社会と大学の新たな協働を目指して」

主催：茨城大学人文学部、共催：茨城大学地域総合研究所／茨城大学政経学会

日時：2011年5月25日（水） 開場／14時30分 開会／14時45分

場所：茨城大学人文学部講義棟 10番教室

参加費：無料

基調講演：上月 良祐氏（茨城県副知事）

パネラー：上月 良祐氏（同上）

大和田一雄氏（大和田法律事務所所長・茨大人文学部OB）

山本 和朗氏（茨城新聞記者・茨大人文学部OB）

井上 拓也氏（地域総合研究所所長）

コーディネーター：兪 和（人文学部社会科学科長）

以上